

ビオチン（ビタミンB₇）大量摂取による 検査結果への影響について（Rev.2）

20-P017_R2 (2020 Oct.)

[1/1]

サポートライン
2147

このたび、厚生労働省医薬・生活衛生医薬安全対策課からの「測定系にビオチンを用いる体外診断用医薬品の添付文書の自主点検」の発令により行った点検結果により、留意いただきたい項目についてお知らせいたします。

Rev.2改訂点：留意いただきたい項目のLSIM外注の項目を変更

● 留意事項：

測定系にビオチン（ビタミンB₇）を用いる検査項目では、サプリメント等により

高用量のビオチンを摂取している患者検体の場合に、正しく測定できない可能性があります。

（測定結果に影響を与える程度の多量のビオチンが摂取されることは極めてまれです）

● 留意いただきたい検査項目：以下別掲の通り

分析装置	SYSMEX HISCL2000	ロシュ e411	ロシュ e602		LSIM外注
検査項目	TARC TAT	TnT NT-proBNP PCT HCG HBsAg HBsAb HCVAbs HIVスクリーニング	AFP CEA CYFRA CA19-9 CA125 CA15-3 NSE total PSA free PSA	TSH FT ₃ FT ₄ T ₃ T ₄ TG LH FSH E ₂ PRG TEST	ACTH ソマトメジンC TRAb定量（第3世代） カルシトニン PTH-I 25-OH-VD 活性型レニン アルドステロン FGF-23 抗TG抗体 抗TPO抗体
問合せ	血液検査 内線3482	緊急検査室 1 st 2-2133（北井） 2 nd 内線3479	内分泌腫瘍マーカー 検査室 内線3483	外注デスク 内線3764	

影響を受ける可能性がある項目については **検査結果を右クリック** しても確認いただけます。

京都大学医学部附属病院検査部

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp



KYOTO UNIVERSITY



一次サンプル
採取マニュアル